



2023年10月10日

各 位

会 社 名 アジャイルメディア・ネットワーク株式会社
代表者名 代表取締役社長 宮地 広志
(コード番号 6573 グロース)
問合せ先 取締役 CFO 川上 元樹
(TEL 03-6435-7130 (代表))

新たな事業（動画及び書籍に関するプラットフォーム事業）

の開始に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、新たに動画に関するプラットフォーム事業及び書籍に関するプラットフォーム事業を開始することについて決議しましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 新たな事業の内容

(1) 事業の内容

当社グループは「個の力を最大化し、“小さな経済”を成長させる」をミッションに掲げ、企業やブランドのファンの育成・活性化を支援するアンバサダーマーケティング事業を主軸事業としておりますが、新たな収益セグメントの構築を目指し、合弁会社 papaya japan 株式会社（以下、「papaya」といいます。）による韓国に特化したアパレル・コスメに係る WEB サイト運営及びインフルエンサー関連事業を開始し（2023年4月28日付「合弁契約締結による業務提携に関するお知らせ」及び2023年6月1日付「（開示事項の経過）合弁会社設立完了に関するお知らせ」をご参照ください。）、また、健康美容系の領域に着目し当社の連結子会社である and health 株式会社にて酸素ボックス商材を取り扱う事業を開始しております（2023年7月27日付「子会社の設立及び新たな事業の開始に関するお知らせ」をご参照ください。）。

当社グループは、このように新規事業の開始に注力してまいりましたが、この度、動画に関するプラットフォームについて、当社が独自で、ストック収益型の動画プラットフォーム「V-park（ブイパーク）」の提供を新たに開始することといたしました。これは株式会社トリニティ（所在地：東京都港区 代表取締役：梅田嗣雄 以下、「トリニティ」といいます。）が開発したプラットフォームのソースコードを当社が使用することで実現させます。

「V-park」は、運営企業がオーナーとなり、動画を自由に投稿・管理できる会員制プラットフォームです。ユーザーからの月額利用料が収益となるため、ファンと密度の濃いコミュニケーションを取りながら、ストック収益型で売上に直結させられます。自社でこのような動画プラットフォームを作る場合、膨大なコスト、労力がかかるのに対し、「V-Park」は初期費用を安価に抑えることができます。

また、他社の既存サービスと比較し、以下のような特長が挙げられます。

- ・限られた人を対象とした有料での動画配信

「V-Park」ユーザーのみが見られるコンテンツであるため、アーティストやタレント、アスリートなど固定ファンに向けた動画、専門知識やスキルアップのための教育系動画など特定の層に向けた限定的な価値の高い動画の配信が可能です。また、医療系などオープンな動画プラットフォームではガイドラインに引っかかってしまい掲載できない特殊な動画、模倣・コピーのリスクを回避したい動画にも対応できます。

- ・広告や投げ銭機能がなくストレスフリーに閲覧可能

広告が入らないため、その動画に価値を感じている人がストレスなく動画を堪能できます。また、投げ銭機能がなく、そういった機能とはミスマッチになってしまうコンテンツにもおすすめてできます。

- ・自由な価格設定

ユーザーの課金方法や金額は運営企業が自由に決められます。また、複数の料金プランを設けることもでき、プランごとに公開コンテンツを制限することも可能です。

(2) 事業開始の背景

当社は、ファンマーケティングを牽引する企業として様々な施策に取り組んできました。直近では企業 SNS アカウントを用いたファン育成・コミュニティの活性化により、顧客 LTV（顧客生涯価値）を高めブランドに対するロイヤリティを高めるといった活動をメインに行っています。

そういった支援の中で、ファンコミュニティの活性化がどれほど売上に直結したか実測での把握が困難、アカウントが成熟した企業や業界では既存の活動のみではさらなる成長が難しく次のステップに進む必要があるなどの課題が上がってきました。

こういった背景から、企業だけではなくファン及び利用者から収益を獲得するビジネスモデルを構築する必要があると判断し、「V-park」の提供を開始することといたしました。「V-park」は、運営企業がオーナーとなり動画を配信するプラットフォームで、月額利用料をもとに収益化されるため売上への直結が可能です。本サービスの開始によって、これまで実施してきた SNS でのファンの活性化・育成だけでなく、独自のプラットフォームを用いたファンコミュニケーションもサポートします。

(3) その他

書籍に関するプラットフォームについても、近日中の公開を目指しております。動画に関するプラットフォームとの技術的な親和性が高く、動画に関するプラットフォームと共通のハードウェアを利用するなどしており、広告宣伝方法や販路も共通しており事業関連性があるためであります。ただし現在のところ具体的なサービス名称含め検討中でありますので、詳細が決定され次第改めてお知らせいたします。後述のとおり当該プラットフォームの利用料として毎月約1百万円を支払う事を想定しておりますが、この金額には動画と書籍の利用料が含まれて算定されており、書籍に関するプラットフォームについては詳細決定前ではありますが事業開始の決定をしております。

2. 新たな事業を開始する時期

① 当社取締役会決議日	2023年10月10日
② 新規事業開始日	2023年10月31日(予定) なお、書籍に関するプラットフォームについても同時リリースを予定しております。

3. 新たな事業のために特別に支出する予定額の合計額

当社は、トリニティの有する動画及び書籍に関するプラットフォームシステム一式の専属利用ライセンスを保有している株式会社玉光堂(以下、「玉光堂」といいます。)から、システム利用の許諾を得ます。システム利用許諾を得るため、当社は玉光堂に月額使用料を支払います(同システム一式は開発用サーバ1台、オープン案件用サーバ1台、クローズ案件サーバ(案件毎に1台ずつ)の構成であります。各サーバには、V-PARK 本体、セキュリティ対策ソフト、ヘルプ用ナレッジページをセットアップし、それぞれ独立したネットワーク構成上に構築します)。玉光堂は動画及び書籍に関するプラットフォームシステムを用いて別事業を行う予定があるので専属利用ライセンスを保有されております。

当社とトリニティとは、本年8月22日付開示「株式会社トリニティとの販売代理店契約の締結に関するお知らせ」にて公表のとおり、デジタル広告における詐欺・不正行為であるアドフraudを検出する「AdProtect」事業で協業している関係であります。また、玉光堂は、当社筆頭株主である株式会社鈴木商店(所在地:東京都港区 代表取締役:鈴木依里)のグループ会社であります。

当社が玉光堂に毎月支払う使用料は、動画及び書籍に関するプラットフォームあわせて月額約1百万円であります。月額利用料の根拠は、玉光堂がトリニティの専属利用ライセンスを取得するため生じた費用を参考に、玉光堂と当社の協議の上決定したものであります。また、トリニティとは、同システムの構築及び保守を目的とした業務委託契約を締結しており、総額8百万円を当社の運転資金より支出しております。この資金の調達元は、第10回新株予約権が行使されることで得た資金であります。

4. 相手先の概要

(1) 玉光堂

(1) 名 称	株式会社玉光堂		
(2) 所 在 地	東京都墨田区石原3丁目2-3		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 鈴木伸也		
(4) 事 業 内 容	音楽・映像ソフトのプレス、その他各種 CD/DVD 製造、梱包、発送までのトータルサポート		
(5) 資 本 金	50,000,000 円		
(6) 設 立 年 月 日	2002年2月28日		
(7) 大株主及び持株比率	株式会社玉光堂ホールディングス (96.8%)		
(8) 当事会社間の関係			
資 本 関 係	当社の発行株式の 5.33%を保有しております。		
人 的 関 係	該当事項はありません。		
取 引 関 係	該当事項はありません。		
関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	当社の主要株主及びその近親者が議決権の過半数を所有している会社の子会社であるため、当社の関連当事者に該当します。		
(9) 最近3年の経営成績及び財務状況 (単位:千円)			
決 算 期	2021年2月期	2022年2月期	2023年2月期
純 資 産	1,282,887	1,579,172	1,616,298
総 資 産	4,153,662	5,258,115	5,915,456
1株当たり純資産(円)	641,443.85	789,586.09	808,149.22
売 上 高	5,105,477	6,338,219	7,307,163
営 業 利 益	30,716	7,449	106,305
経 常 利 益	127,356	284,407	68,978
当 期 純 利 益	72,005	296,284	△13,389
1株当たり当期純利益(円)	36,002.86	148,142.24	△6,694.79
1株当たり配当金(円)	0.00	0.00	0.00

(2) トリニティ

(1) 名 称	株式会社トリニティ		
(2) 所 在 地	東京都港区西新橋2-33-4 プレイアデ虎ノ門4階		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 梅田 嗣雄		
(4) 事 業 内 容	ソリューション事業、アドフラウド対策事業、ウェブマーケティング事業 他		

(5) 資本金	30,000,000円		
(6) 設立年月日	2012年4月2日		
(7) 大株主及び持株比率	梅田 嗣雄 (92.0%)		
(8) 当事会社間の関係			
資本関係	同社との資本関係はありませんが、同社の代表者である梅田嗣雄氏は当社が発行した第10回新株予約権の内227個を有しております。		
人的関係	該当事項はありません。		
取引関係	当社とトリニティとの間で販売代理店契約を締結しております。		
関連当事者への該当状況	該当事項はありません。		
(9) 最近3年の経営成績及び財務状況 (単位:千円)			
決算期	2020年10月期	2021年10月期	2022年10月期
純資産	54,043	95,961	158,442
総資産	442,637	446,336	533,631
1株当たり純資産(円)	270,217.68	479,806.06	264,070.02
売上高	564,044	819,600	993,021
営業利益	51,176	56,125	52,563
経常利益	53,777	61,978	67,607
当期純利益	35,998	41,917	42,480
1株当たり当期純利益(円)	179,994.62	209,589.24	70,810.04
1株当たり配当金(円)	0.00	0.00	0.00

5. 今後の見通し

当期(2023年12月期)の連結財務諸表に与える影響は、売上高については軽微であります。営業利益以下の各段階利益を約2百万円減少させる見込みであります。開示すべき事項がありましたら速やかに開示いたします。翌期以降の当社の連結財務諸表に与える影響については、現在精査中であり、適時開示が必要になった場合には速やかにお知らせいたします。

以上